

GT-eSMART series *GT-eRemote*

取扱説明書

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください

2.2版
2018. 08. 30



目次

「GT-eRemote」について	1
注意事項	2
使用方法	3
メニュー画面	4
ライドモード	4
GT-eBoxファームウェア更新	7
GT-Power 校正	11

「GT-eRemote」について

GT-eRemoteとはGT-eSMARTシリーズの専用アプリケーションとなります。
GT-eRemoteを使用することでGT-eSMARTシリーズをより活用していただくことができます。

GT-eRemoteでは以下のことができます。

● さまざまな走行モードをサポート

トレーニング内容に応じて走行モードを選択することができます

● マニュアルモード

GT-ePowerの負荷をお好みに設定できます

● 出力(ワット)固定モード(※)

設定した出力(ワット)となるよう、速度に応じてGT-ePowerの負荷が変動します

● マップトレースモード(※)

GPSデータ(GPXファイルのみサポート)を読み込むことで、コースプロフィールを再現します

● トレーニングメニューモード(※)

時間/出力/距離/ケイデンス/インターバル回数などをもとにトレーニングメニューを作成し、作成したメニューに沿ったトレーニングを行うことができます

(※)が付いているものはアップデートすることで順次使用できるようになります

● カスタマイズ設定

GT-eSMARTシリーズをより快適かつ安全に使用していただくために、ご自身の使用方法に合わせたセッティングが可能です。

● 体重/車重設定

設定することで想定パワー値(GT-Power)の精度が向上します

● GT-Power校正機能

ご使用の環境(ローラー/タイヤ/室温など)で校正を行うことで、GT-Powerの精度をより向上させることができます

● GT-Power表示/通知設定

GT-Powerを出力値(Power[W])として、GT-eRemoteに表示したり、ANT+, Bluetoothで接続されたアプリ/機器へ送信するか否かを設定します。

体重を正しく設定していない、またはGT-Power校正が行われていない、などの場合、GT-Powerの精度が低いため、通知したPower[W]がバーチャルライドソフトなどで不正値として判断される可能性があります。その際は通知をOFFにしてください。

● 負荷OFF速度設定

低速走行時は不安定な状態となり、負荷がかかっていると転倒する危険性があります。安全に使用いただくために、負荷をオフにする速度を設定します

● 最大負荷制限解除設定

高負荷低速状態で長時間使用した場合、タイヤが発熱し変形または破損する可能性があります。出荷時は安全のためオフ(負荷制限有り)となっております。本設定を有効にすることで負荷制限がなくなります。有効にするためには表示される注意事項をよくご確認いただき、設定を行ってください。

本設定を有効にしたことによる破損などにつきましては、弊社では一切の責任を負いません。

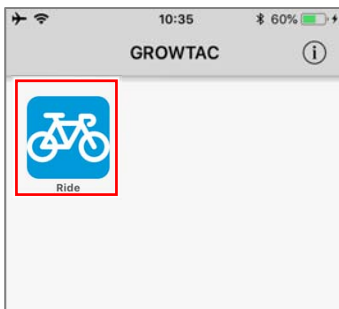
注意事項

- 使用可能なiOSデバイス/iOSバージョンは以下の通りです。

iOSデバイス	iPhone 4S以降 (推奨：iPhone6以降)
iOSバージョン	iOS 9.0以降 (推奨：iOS10.0以降)
- GT-eRemoteを使用する際には、スマートフォンやタブレットを自転車等にかかりと固定して使用してください。スマートフォンやタブレットなど、落下したことにより故障や破損などした場合も、当方は一切の責任を負いかねます。
- 走行中の画面注視は非常に危険であり、転倒する恐れがあります。画面を注視しないでください。
- 走行中にGT-eRemoteを操作する場合は、十分に注意し安全を確保したうえで操作してください。
- スマートフォンとGT-eBoxはBluetooth接続となりますので、お手持ちのスマートフォンの設定でBluetoothを有効にする必要があります。あらかじめ有効にしておくか、使用時に通知されるガイダンスに沿って有効としてください
- GT-eRemoteを操作する前に、ご使用になるGT-eSMARTシリーズ(GT-eBox, GT-ePower,など)の取扱説明書を良くお読みください。
- 本書で使用しているスクリーンショットなどはアプリバージョンアップなどにより内容が異なるものがあります。
- 本書で掲載されているソフト名、サービス名は一般に各メーカーの商標または登録商標です。TM及び®マークは記述していません、ご了承ください。

使用方法

1. メニュー画面



GROWTACロゴが表示されるタイトル画面に引き続き、メニュー画面が表示されます。

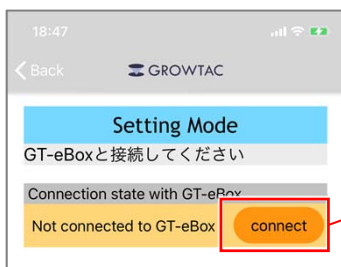
現在はひとつの機能が選択できます。

Ride(赤枠) : ライドモード

2. ライドモード

ライドモードにおいて、ペアリングから実際にライドするまでの使用方法を記述します。また、必要に応じてGT-eBoxファームウェア更新を行うことができます。

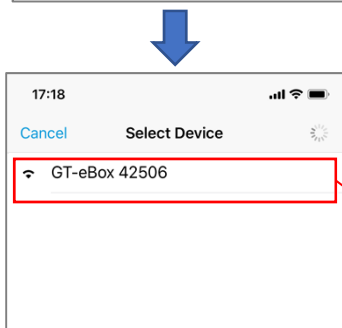
2-1. GT-eBoxとペアリング



メニュー画面から Ride アイコンをタップすると、設定画面へと遷移します。

まずは“GT-eBox”とペアリングする必要があります。

赤枠の“connect”をタップしてください。



近くに電源が入ったGT-eBoxがあると一覧に表示されます。

ペアリングしたいGT-eBoxをタップします。


使用方法(続き)

2-2. 設定画面

GT-eBoxとペアリングが完了すると設定画面に戻ります。GT-eBoxとペアリングしたことで各種設定を行うことができるようになります。

アプリ内に含まれるGT-eBoxファームウェア版数と、ペアリングしたGT-eBoxファームウェア版数により、GT-eBoxファームウェア更新情報が表示されることがあります。詳細はPage7を参照ください。

GT-eBoxとペアリング中はスマートフォンなどの自動ロック機能が解除されます。



The screenshot shows the 'Setting Mode' screen of the GT-eBox app. It includes sections for 'Setting Mode' with instructions, 'Connection state with GT-eBox' showing 'GT-eBox 42506' and a 'disconnect' button, 'Weight setting' for Rider (64.7[kg]) and Bike (7.2[kg]), 'Other setting' for Speed (8.0[km/h]), 'Maximum resist valid' (off), and 'Notify GT-Power as power' (on). At the bottom are 'setting' and 'manual' tabs.

ナビゲーションバーは非表示となります。ペアリングを解除すると再表示されます。

ここには使用方法やtipsなどが表示されます。

GT-eBoxとのペアリングを切断したい場合は"disconnect"をタップします。

体重(ウェア含む)と車重を設定します。GT-Powerの計算に使用されます。

負荷をOFFする速度を設定します。設定した速度以下では負荷がOFFになります。

最大負荷制限解除を設定します。有効にした場合は、負荷制限が解除されます。

GT-Powerを出力値(Power[W])として使用するかを選択します。

画面下部にタブバーが表示されます。現在は二つ選択できます。
setting(青枠) : 設定(本画面)
manual(緑枠) : マニュアルモード
新しいモードが増えた場合はここで選択できるようになります

注意.

- 画面サイズが4.7inchより小さい場合は、一画面に入りきらないため、スクロールして表示させる必要があります。

使用方法(続き)

2-3. マニュアルモード画面

設定画面タブバー上の“manual”を選択するとマニュアルモード画面となります。ここではGT-ePowerの負荷を21段階(0%~100%まで5%単位)で設定することができ、トレーニングを行うことができます。



GT-eBoxと各ユニットの接続状態を表します。

緑枠 : ペアリングしているGT-eBoxナンバー

橙枠 : 各ユニット接続状態

背景が濃いと接続されています。

左図の場合は以下を表します。

eBox(GT-eBox) : 接続

ePwr(GT-ePower) : 接続

eSlp(GT-eSlope) : 未接続

橙枠内の各装置をタップすると詳細情報が以下のように表示されます。



各種情報が表示されます

(速度,GT-Power,負荷レベル,斜度レベル)

各装置の制御ボタン

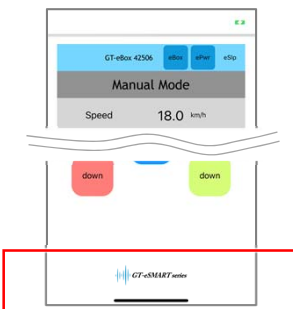
負荷(橙色) : 0~100まで5単位で制御

斜度(緑色) : 0.0~10まで0.5単位で制御

HOME(青色) : 負荷/斜度を0に戻します

長押しすることで一気に変更することが可能です

タブバーは誤動作防止のため走行中は非表示となります。



使用方法(続き)

2-4. ライド終了

以下の手順に沿って終了します。

1. 足を止めてローラーから降車します
2. 画面下部にタブバーが表示されるので、“setting”を選択します
3. GT-eBoxとのペアリングを切断するために“disconnect”を選択します
4. アプリを終了します
5. GT-eBoxの電源を切断します

必ずしもこの手順に沿う必要はありませんが、手順を踏んで終了することを推奨いたします。

2-5. 注意事項

画面表示における注意事項を再度まとめておきます。

- 設定画面ではGT-eBoxと“connect”しないと、詳細設定画面は非表示となります
- GT-eBoxとペアリング接続したら、上部ナビゲーションバーは誤動作防止のため非表示となります。
再表示するためには設定画面で“disconnect”する必要があります。
- マニュアルモードで走行中は下部タブバーは誤動作防止のため非表示となります。
速度が0.0km/hになったら再表示されます。

3. GT-eBoxファームウェア更新

GT-eBoxのファームウェアはGT-eRemoteから更新が可能です。

機能の改善や追加などがあった場合に、ファームウェア更新を行うことでより快適に使用できるようになります。

ここではファームウェア更新手順について記述します。

3-1. GT-eBoxファームウェア更新開始条件

前述したライドモードにおいてGT-eBoxと接続したときにGT-eBoxファームウェアの版数を確認し、必要に応じてファームウェアアップデートを行うよう、促されます。

※スクリーンショット内のGT-eBoxファームウェア版数は説明上のものであり、実際とは異なります



ファームウェア更新が必須となるケース

GT-eRemoteが要求するGT-eBoxファームウェア版数に満たない場合(※)には、更新が必須になります。

※GT-eRemoteとGT-eBoxの通信I/Fが変更になった場合など

赤枠で囲ったUpdateボタンを押し更新を行ってください



ファームウェア更新を推奨するケース

軽微な改善などGT-eBoxファームウェアの更新を必須としない場合です。

更新を行わずに使用することもできますが、更新することをお勧めいたします。

赤枠で囲ったUpdateボタンを押し更新を行ってください

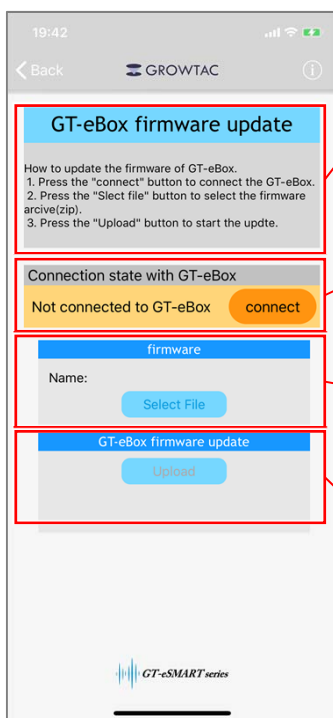


ファームウェア更新が不要なケース

GT-eBoxが最新ファームウェアで動作している場合は本画面となります。

更新は不要ですのでそのままご使用ください。

3-2. GT-eBoxファームウェア更新メイン画面



手順が簡単に明記されています。

画面上部から順番に操作することでアップデートが完了します。3-2.以降に詳細手順を記載します

ファームウェアを更新するGT-eBoxを選択しペアリングします

GT-eBoxとペアリングすると表示されます。更新するファームウェアを選択します。

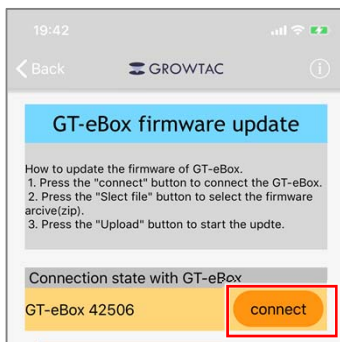
GT-eBoxの選択、ファームウェアの選択を行うと表示されます。
"Upload"ボタンを押すと、ファームウェア更新が始まります

注意.

画面サイズが4.7inchより小さい場合は、一画面に入りきらず操作困難な場合があります(次版対処予定)

使用方法(続き)

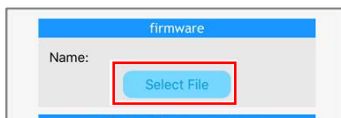
3-3. GT-eBoxとペアリング



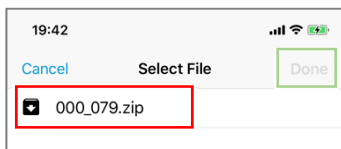
“connect”ボタンをタップし、ファームウェア更新を行うGT-eBoxを選択します。
画面はライドモードと同じなので省略します。

ライドモードのときに一回ペアリングしていますが、お手数ですが再度ペアリングをお願いいたします。

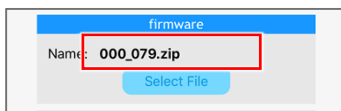
3-4. ファームウェアの選択



“Select File”をタップします



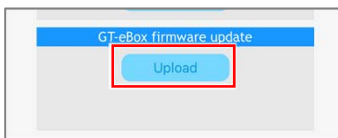
GT-eRemote内に格納されているファームウェアが表示されます(赤枠)。
ファームウェアを選択し、右上緑枠内の“Done”で選択を確定します



ファームウェア更新トップ画面に選択したファームウェアアーカイブ名が表示されます

使用方法(続き)

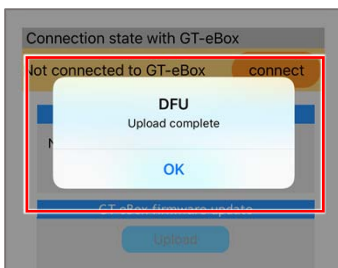
3-5. ファームウェア更新開始



GT-eBoxの選択、およびファームウェアの選択を行うと、“Upload”ボタンが有効化します。アップデートを行う場合は、タップします



ファームウェアアップデートが開始します。プログレスバーが右端まで行くと完了です。



ファームウェア更新が完了したことがポップアップして表示されます

GT-eBoxは自動的に再起動し、新しいファームウェアで起動します

再起動したことによりペアリングは切断されます

以上でファームウェア更新は完了です。

設定画面まで戻り再度ペアリングしご使用ください

3-6. 注意事項

エラーが発生し失敗した場合は再度行ってください。それでも成功しない場合は故障の恐れがありますので、お問い合わせください。

GT-eBoxのファームウェア更新中はGT-eBoxの電源を切断しないようにしてください。途中で電源が切断された場合は、次回起動しなくなる場合があります。

ファームウェア更新後、設定画面でペアリングせずにGT-eRemoteを終了したり、GT-eBoxの電源を切断したりすると、設定画面で設定した内容が初期値に戻ってしまいますのでご注意ください。

使用方法(続き)

4. GT-Power 校正

GT-eSMARTシリーズはGT-ePowerと接続することで仮想パワー値(GT-Power)を算出し、それをもとにパワートレーニングなどをおこなうことができます。

GT-Powerは速度/負荷/体重/車重などから独自アルゴリズムを用いて求めるため、一般的なパワーメーター(クランク型やハブ型など)とは異なる値が出る場合があります。

パワーメーターを別途用意していただき、そのパワー値をもとにGT-Powerに補正を掛けることで、GT-Powerの精度をより向上させることができます。

週に一回程度は校正を行うことをお勧めいたします。

※GT-Powerは想定値であるため、微調整しても誤差は出てしまいます。アップデートにて精度を高めていきます。

4-1. GT-Power校正開始

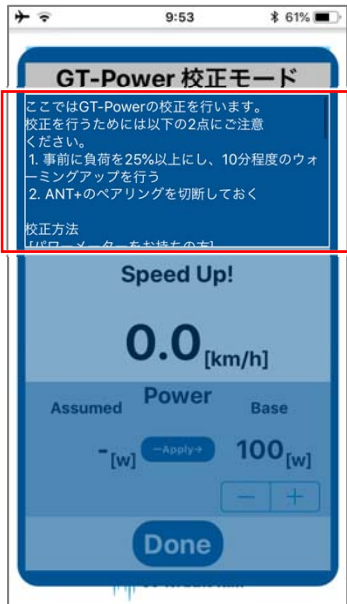
GT-ePowerを接続したGT-eBoxとペアリングをおこない、マニュアルモード画面にし、“ePwr”をタップします。

タップするとGT-ePowerの情報がポップアップ表示されます

現在の補正值となります

ここをタップすることで校正が開始されます

4-2. GT-Power校正手順画面



GT-Power校正について手順が左図の赤枠内に表示されます。内容が多いため一部だけ表示されていますので、スクロールさせて内容をご確認ください。

GT-eRemote 1.1.12では以下の内容となります。

ここではGT-Powerの校正を行います。
校正を行うためには以下の2点にご注意ください。

1. 事前に負荷を25%以上にし、10分程度のウォーミングアップを行う
2. ANT+のペアリングを切断しておく

校正方法

[パワーメーターをお持ちの方]

- "Manual Mode"画面に戻り、負荷0%にし30km/hで走行を行い、パワーメーターの出力値を求めて下さい。
- 求めた出力値を"Base"へ設定して下さい

[パワーメーターをお持ちでない方]

- 画面の指示に従い39km/h～43km/hまで速度を上げ、数秒キープし、ペダリングを止めてください
* ペダリングを止めた後は、足をステップなどに置き、転倒しないように十分注意してください
- テストが終了すると負荷0%、30km/hでの想定パワー値が"Assumed"へ表示されます。

この値をもとにGT-Powerが求められます。

この値を使用するときは "Apply"して下さい。

"Apply"した後に stepper で調整することもできます

校正終了

画面下部にある"Done"をタップすると校正モードが終了します

詳細手順については次ページ以降で説明します。

使用方法(続き)

4-3. パワーメーターをお持ちの場合



パワーメーターをお持ちの場合は、特定の条件で計測したパワー値を本画面で入力することで、GT-Powerのベース値として設定することができます。

以下の手順で行います。

1. ウォーミングアップを行います
2. “Done”を押して“Manual Mode”画面へ戻ります
(この手順については将来改善予定です)
3. Resistanceを0%にします
4. 30km/hまで速度を上げ、キープします
5. パワーメーターの出力値[w]を覚えます
6. 本校正画面を再度開いてください
7. ステッパーを使用し“Base”へ覚えた出力値を設定します
8. “Done”をタップし終了します

一回設定したあと、GT-eRemoteに表示されるGT-Powerに誤差があると感じた場合には、“Base”値をステッパーで微調整してください。

パワーメーターをお持ちの場合でも、次節以降のスピンドウンテストを行うことも可能です。

使用方法(続き)

4-4. スピンドウンテスト(パワーメーターをお持ちでない場合)



パワーメーターをお持ちでない場合は、スピンドウンテストを行い、GT-Powerのベース値を求めます。

以下の手順で行います。

1. ウォーミングアップを行います
2. 画面真ん中の指示に従い速度を39km/h～43km/hで2秒ほどキープします
3. “Stop Pedaling!!”と表示されたらペダリングを止めてください
ペダリングを止めた後は、足をステップなどに置き、転倒しないように十分注意してください
4. テストが成功した場合は、“Assumed”に想定パワー値が表示されます
5. “Apply”をタップすると“Assumed”の値が“Base”へ反映されます。
6. “Done”をタップし校正モードを終了します

一回設定したあと、GT-eRemoteに表示されるGT-Powerに誤差があると感じた場合は

- 何回か校正を行い、平均値を“Base”へ設定してください
(この手順については将来改善予定です)
- “Base”値をステッパーで微調整してください

画面遷移

